

昭島市障害者地域支援協議会「専門部会」報告書（中間報告）

専門部会名称	相談支援部会		
平成 29 年度 取組目標	・すべての障害のある方のニーズに寄り添って、その人らしい生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータルに相談支援の充実を図ることを目的とする。		
近況報告	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月で事例検討会を開催し今後の取り組みや地域課題の抽出を行っている。9月には前期分の活動のまとめを行う。 ・前年度の活動の中で上がった地域課題の中から早急に対策が必要であるものをピックアップして具体的な取り組みが実施できるように、関係する機関の方をゲストとしてお招きし現状や取り組みなどを確認し、部会でどのように実践できるか検討している。（安否確認システムについての取り組み：あきしま地域福祉ネットワーク代表杉村さん、教育との連携について～昭島市発達支援センターの概要を知る～：あすはの会下田さん※8月部会） ・相談支援専門員としてのスキルアップのため隔月で学習会を開催。5月：モニタリング報告書の書き方 7月：成年後見制度について（講師社協宮本さん） 		
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ◎相談支援事業所の周知を図る。 ◎災害発生後の安否確認システムの確立が不十分である。 ◎地域での連携の重要性。（特に教育機関や医療機関） ◎市内の社会資源の不足（ショートステイ、グループホーム、日中活動、就労・生活支援センター等） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎相談支援事業所マップの作成。 ◎身近な取り組みを知るために、あきしま地域福祉ネットワークの安否確認システムの状況を確認。 ◎11月に近隣の特別支援学校など教育機関との懇談会を開催予定。年度末には医療との連携について検討をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎公共機関、関係機関（介護・民生・学校・医療など）に配布済み。 ◎あきしま地域福祉ネットワークでの取り組みについてのお話を伺い、部会で出来ることを整理した。 ◎抽出した地域の課題を解決できるように部会で実践出来ること、協議会で取り上げてもらうことを整理した。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎マップは必要に応じて増刷。 ◎あきしま地域福祉ネットワークでの安否確認システムを相談支援部会でどのような形に変えて取り組み実践していくか。 ◎市内の社会資源の不足について長年の検討課題であり、地域支援協議会を通して、自立支援協議会に挙げてもらうよう地域課題の抽出を行っている。
自由 記載欄			

昭島市障害者地域支援協議会「専門部会」報告書（中間報告）

専門部会名称	就労支援部会		
平成 29 年度 取組目標	障害のあるすべての人のニーズに寄り添い、その人らしい就労生活の実現のためにライフステージに沿ったトータル的な就労支援の充実を図ることを目的とし、①福祉就労から一般就労の促進 ②見学会・研修会の充実 ③市役所実習の継続を重点目標とした。		
近況報告	<p>1. 本年度第 1 回就労支援部会（5/12 実施、年間予定、就労理解啓発リーフレット活用ほか、新規にハローワーク立川等の参加を確認し参加機関、メンバーの拡大を図った。）</p> <p>2. 市役所実習（本年度は 2 回目、7/26～27 実施、実習生 2 名）</p> <p>3. 見学会と研修会の実施（東京障害者職業訓練校 5/29、特例子会社見学 7/7、「チャレンジ雇用と就労準備性」研修会 6/30）</p> <p>4. 地域生活支援拠点プロジェクトチームへ委員を選出、課題の整理等「拠点のあり方」の検討を実施。</p>		
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題
雇用促進と就労機会の拡大	市役所実習第 2 回の検討 就労理解啓発パンフレット作成	市役所実習第 2 回の実施 就労理解啓発パンフレット配布	実習の振返りと今後のあり方検討 就労理解啓発パンフレット活用と 企業開拓
障害者の働く力（企業就労、福祉 就労、就労準備性等）の理解	特別支援学校、就労支援施設等 に呼びかけて、学習会を企画	特別支援学校、就労支援施設等に よる学習会を 9 月に開催予定	働く力や就労準備性について現状を 理解し課題の整理にとりくむ。
支援者のスキルアップ	職業訓練校の見学 障害者雇用企業の見学 研修会を企画	東京障害者職業訓練校の見学 オリンパスサポートメイト(株)の見学 研修会「チャレンジ雇用と就労準備性について」	就労支援スキルの向上 障害者雇用に関する理解を深める
<p>今後の予定：8 月 28 日（月）午前 10 時 30 分～ 昭島商工会訪問 障害者雇用について意見交換、就労理解啓発パンフレット配布依頼</p> <p>9 月 13 日（水）午後 4 時～第 2 回就労支援部会・学習会「障害者の働く力について」（会場：食工房ゆいのもり）</p>			

昭島市障害者地域支援協議会「専門部会」報告書（中間報告）

専門部会名称	当事者部会		
平成 29 年度 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の体制を見直し、精神・知的の障害者も部会に参加できる体制にする。 ・障害者が住みやすい昭島をめざし、障害者差別解消条例制定実現へ取り組む。 ・障害者当事者の視点による権利擁護の在り方を整理する。 ・当事者同士の理解を深め、当事者間の差別を解消する。 ・障害者の日常生活の質の向上（QOL）を図る活動を展開する。 		
近況報告	<p>当事者部会</p> <p>4月 3日 1. 障害者権利擁護部会について 2. 昭島市障害者自立支援推進協議会の構成メンバーについて</p> <p>5月 8日 1. 地域生活支援事業PT 課題整理シート 2. 全体会議へ当事者部会からの提議について</p> <p>3. 学習会について 4. 差別解消啓発市民向けパンフ 5. 地域支援協議会事務局会議当事者部会委員補充について</p> <p>6月 19日 1. 全体会議へ当事者部会の提議の報告 ・権利擁護部会について ・推進協議会当事者枠設置について</p> <p>2. 地域生活支援事業PT 課題整理シート 3. 学習会について 4. 事務局会議の参加人員について</p> <p>7月 3日 1. 地域生活支援事業PT 課題整理シート 2. 学習会について</p> <p>8月 21日</p>		
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題
差別解消法の理解が進んでいない	市民へ理解を促進する。	部会で市民向けパンフレットの検討	全戸配布を行い、理解の向上が必要
権利擁護についての理解が進んでいない	権利擁護部会の設置 権利擁護についての学習会の開催	全体会への提言 講師の選定と打ち合わせ	権利擁護部会の活動内容の検討 開催準備と周知の徹底
当事者参画の促進が進んでいない	推進協議会当事者枠設置 事務局会議への加配	全体会への提言 参加要員の選定	次期推進協議会に委員の確定と増員を要請
地域生活支援拠点の推進が進んでいない	拠点についての理解と内容の検討	部会内で検討	当事者の立場からの内容の検討の継続
自由 記載欄	差別と合理的配慮への理解及び正しい知識を深めるために、専門家を招待して学習会を企画。調整結果2/18に実施することに。 当事者部会のありかたの見直しが求められている。		

昭島市障害者地域支援協議会「専門部会」報告書（中間報告）

専門部会名称	生活支援部会		
平成 29 年度 取組目標	障害のあるすべての人のニーズに寄り添って、その人らしい地域生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータルの生活支援の充実を図ることを目的とする。		
近況報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月17日 部会 今年度活動計画の確認、地域生活支援拠点（課題整理シート）について検討した。 ・ 5月15日 部会 ヘルパー事業所とグループホーム・ショートステイ事業所でグループに分かれ、事例検討準備・情報交換 ・ 6月19日 部会 主に地域生活支援拠点（課題と対策）について検討した。 ・ 7月10日 施設見学 認知症対応型グループホーム（GHかえで）・特別養護老人ホーム（フジホーム）の見学を行う。 ・ 8月14日 部会 事例検討と学習会開催について話し合いを行う。 		
現状と課題	解決のための方法	実施したこと	今後の課題
・ヘルパー・支援者の人材不足。 (確保と育成)	・地域生活支援事業である移動支援は昭島市主催で研修開催する	・研修の実施について必要な人材や予算を開催している事業所に聞く	・過去の研修実績をもとに計画を実行する ・事業所同士の連携・医療との連携
・障害のある方の権利擁護の在り方について、親族や地域への周知が不足している	・障害の理解や専門性を高めるため、学習会の機会を増やす	・在宅に関わる訪問看護師や成年後見制度の学習会を開催する（予定）	・相談支援事業所との連携 ・成年後見制度について、知的・精神障害者の約 50%の方が今後の利用を考えている（障害の重度化や親亡き後等）
・障害のある方が高齢になった時に備えて、現在の社会資源や情報が足りていない	・地域にどのような高齢者のグループホーム・ショートステイなどがあるか（あったらいいか）を把握する	・認知症のグループホームを見学し、障害者のグループホームとの違いなど確認した	・地域の高齢者施設との連携で障害者の高齢化に伴う支援の仕方や移行する場合にスムーズに行えるようにする
自由 記載欄			

昭島市障害者地域支援協議会「専門部会」報告書（中間報告）

<p>専門部会名称</p>	<p>日中活動部会</p>		
<p>平成 29 年度 取組目標</p>	<p>すべての障害のある方のニーズに寄り添って、その人らしい生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータルに日中活動支援の充実を図ることを目的とする。</p>		
<p>近況報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月26日（金）に今年度第1回目の日中活動部会を開催し、都立村山特別支援学校の見学会を行った。食事や授業、その他の活動、先生が作る用具など、細やかで丁寧さが大変印象的だった。また人的にも配置が非常に手厚く感じた。卒業後の事業所との配置の格差を改めて感じた。 ・ 7月13日（木）に日中活動部会準備会をコアメンバーで行い、第2回日中活動部会を9月14日10:00より行うことを確認した。地域生活支援拠点についても意見交換する予定である。 		
<p>現状と課題</p>	<p>解決のための方法</p>	<p>実施したこと</p>	<p>今後の課題</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業後の生活介護の受入れ体制が不十分であり、他市から受入れ、昭島市内の方が受け入れられない等の課題がある。 ・ 重度心身障害者の地域移行が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中活動部会にて先生と今後の生活介護希望の人数、受入れ承諾時期等の検討や学校見学を行なう事で実情を知り、スムーズな移行が出来るようにしていく。 ・ 重度心身障害者が利用している医療機関なども見学していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所の状況を知るために各事業所の見学会を行い、現在も各事業所を回っての準備会を行っている。 ・ 1月に都立あきる野学園、5月に都立村山特別支援学校の見学会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の事情やニーズが理解出来てきたため、卒業生の受け入れをさらにスムーズに進めていく。 ・ 地域生活支援拠点に入る日中活動サービスの在り方を検討していく。
<p>自由 記載欄</p>			

昭島市障害者地域支援協議会「専門部会」報告書（中間報告）

<p>専門部会名称</p>	<p>防災部会</p>		
<p>平成 29 年度 取組目標</p>	<p>昭島市から死者を出さない</p>		
<p>近況報告</p>	<p>部会開催 4月7日 ① 避難行動要支援者名簿の作成について ②市としての避難行動ならびに避難生活支援全体計画策定について ③部会としての年間計画の作成 ③「福祉避難所（モデルルーム）体験についての大枠」④障害者地域生活支援拠点プロジェクトについて 6月2日 ① 要支援者名簿について ②備蓄品の確認と提案要望 ③市の総合防災訓練・モデルルームに関して・避難所：二次避難所について 8月4日 ① 昭島市総合防災訓練について・部会として参加方法の検討 ②学校避難所と福祉避難所の関係について③部会のこれからのについて 8月27日 昭島市総合防災訓練に参加 次回の部会 10月6日（金） 場所：市役所201会議室</p>		
<p>現状と課題</p>	<p>解決のための方法</p>	<p>実施したこと</p>	<p>今後の課題</p>
<p>避難行動要支援者名簿の検討</p>	<p>名簿作成過程の進捗状況の確認</p>	<p>障害福祉課との議論を重ねる事</p>	<p>運用の推移の確認と効果の検証</p>
<p>避難所の福祉機器の展示実演会の実施</p>	<p>総合防災訓練に参加とモデルルームの設置の検討</p>	<p>部会へ防災課が参加</p>	<p>8月27日に参加と検証 健康課と検討</p>
<p>地域防災計画(要配慮者対策・福祉避難所)の検討</p>	<p>要支援者の課題の検討と運用の検証</p>	<p>部会へ防災課が参加</p>	<p>一次避難所と福祉避難所についてのマニュアルの確認</p>
<p>自由 記載欄</p>	<p>今年の課題は 要援護者名簿と要援護者支援計画策定の二つであったと思う。名簿については、対象者の範囲と記載事項については概ねコンセンサスが得られたと思う。残された課題は名簿の活用方法にかかわる事柄かもしれない。 支援計画の策定は来年3月までの完成を目指す。完成した際は現行マニュアルとのすり合せが必要となると思われる。</p>		